本学入学時における初修外国語の選択方法について

東京大学教養学部

これまで初修外国語の選択については、学生の希望する言語に足る定員枠を用意することができていましたが、この定員枠を用意することが難しい状況が 2026 年度より続いています。

2026 年度は、これまでの言語選択の傾向から、従来のように 1 言語のみ選択することもできる方法のままでは、すべての学生の希望を叶えるクラス編成ができない可能性が非常に高い状況でした。このことから、全学生が 2 言語選択する方法を用いることで、公平なクラス編成を行うことができると判断し、2026 年度の言語選択方法を決定いたしました。

しかしながら、学生の皆さんからのご意見および教員からの希望を伺い、2027 年度の初修外国語選択方法については、希望する言語を第 1 希望から第 7 希望まで列挙し、その希望を元に定員枠に収まる形でクラス編成を行います。また、第 1 希望の言語を強く希望する学生には、その旨を申告できる欄があります。

クラス編成は原則として希望順位の高い言語（なるべく第 2 希望以内）に決定することを優先して行いますが、第 1 希望言語を強く希望する場合は定員に達するまで最優先されます。ただし、定員枠を超えた場合には 1 言語を強く希望しなかった学生よりも優先度は下がり、空きがない場合には順位の低い言語に決定する可能性があることを十分に理解してください。

最後になりますが、外国語の学修は皆さんの世界が大きく広がることにつながります。たとえ当初の希望どおりにならなかったとしても、新しい言語に触れ、皆さんの知見がより深まることを心より願っています。

なお、必修外国語としてではなく、第三外国語として希望する言語を学ぶ機会が用意されていることも申し添えます。